



専門家の参加

植樹なら素人でもできると思っていたのですが、最初のプロジェクトは失敗でした。いま考えると、土と水の条件がもっとも困難な黄土丘陵で、植樹方法も適切ではなかった、畑だった場所に植えた、など失敗の原因は明らかなのですが、当時はそんなことはわかりません。壊滅状態の造林地をまえに、途方にくれました。植物の専門家に指導をしてもらうしかありません。

せっぱつまった SOS に、助けの手が差し伸べられました。大阪市立大学理学部附属植物園をはじめ、4つの植物園づくりにたずさわったプラントハンターの立花吉茂さん、東北大学理学部附属植物園園長（当時）の遠田宏さんでした。これに力づけられ、94年8月、専門家の視察団を計画。立花さん、遠田さん、前中久行さん（当時名城大学・その後大阪府立大学大学院教授に転じ、退官）の参加をえて実施しました。立花さん、遠田さんはその後も、それぞれ GEN 代表、GEN 顧問として大同の緑化に取り組んでいただきました。07年には前中さんにも顧問にくわわっていただきました。11年、前中さんに代表を引き継いでしばらく後、立花吉茂さんは他界されました。立花さんのご遺志をついで、緑の地球ネットワークは緑化協力活動を続けていきます。